

# 「千年の苑」づくり事業

—No.46 嵐山町—

## 【事業の内容】

嵐山町の南部地域の農地に約 10ha の景観作物であるラベンダーを作付けし、新たな観光農業の拠点を作ります。

ラベンダーは、地中海原産のハーブとして知られおり、花や茎、葉に強い香りがします。開花時期は 6 月～7 月にかけてで、開花した花を摘み取り、ポプリの材料にしたりするほか、加工品の原料としてフランスやイギリスなどでは商業的に栽培され、花を摘み取り蒸留抽出してラベンダー油を取り、香水、化粧品、薬品などの香料の原料にしたり、またアロマテラピーとして使われます。

日本へは江戸時代に渡来したといわれ、埼玉県内においては、ラベンダーの大規模な圃場が、自然豊かな景観とマッチした特徴的な地域となります。

町の農業者団体が栽培・管理を行い、千年の苑事業推進協議会がマネジメントしていく予定です。

## 【事業年度】

平成 28 年度から平成 31 年度まで

## 【予算額(千円)】

17,230 千円

## 【財源】

地方創生加速化交付金（国）

## 【事業実施に至った背景・経緯】

嵐山町では、農業人口の減少や高齢化により、耕作放棄地の増加や農業の活性化が課題となっています。町民の方や農業団体をはじめとする各種団体の方々から、農業と観光や歴史・文化などをつなげ農業の付加価値を高め多角的な戦略で活性化を図ることが必要との意見が多く出されていました。

ラベンダーファーム等に多くの方が訪れることにより、地元農産物や加工品

等の販売やラベンダー等を原料とした新たな特産品を販売することで農業者や関係する団体の収入の増加が見込まれ、それが地産地消されることで資金が循環することになります。

## **【事業のPRポイント】**

嵐山町は、木曾義仲公や畠山重忠公など戦国武将ゆかりの地です。悠久の歴史が流れる「嵐山町」において、嵐山溪谷バーベキュー場をはじめとした嵐山溪谷、大平山など地域の自然あふれる観光ポイントと連携を図りながら埼玉県一のラベンダーの都市型観光農園として整備していきます。

## **【事業実績・成果・今後の展開】**

観光農園による農産物の直売等の収入により自立を図ります。商工会や観光協会等と連携し収穫物を活用した新たな商品開発や6次産業化への取組や、都市部へ向けたPRなど集客に向けた取組も検討しています。

農業のイメージを変えるとともに広く地域の農業者に関わっていただくことにより農家の収入を図るとともに新規就農へつなげていきます。

〔 連絡先 〕

環境農政課農業振興担当

0493(62)0719